

扱い	テレビ・ラジオ・新聞 制限なし
解禁	なし

記者発表資料

平成 24 年 8 月 29 日

しまばら ちゅうおう どうろ 国道251号島原中央道路の開通について

国土交通省雲仙復興事務所が権限代行として整備を進めている
国道251号島原中央道路の全線(延長 4.5km)が開通する見込みとなつたためお知らせします。

今回の開通により、南島原市より島原市を経て諫早市に至る地域高規格道路「島原道路」の一部として、**島原半島地域の医療サービス向上や観光産業等を支援するとともに、島原市中心部の交通混雑緩和を図り、国道251号現道の災害時等の代替として機能します。**

1. 開通日：平成 24 年 10 月 8 日(月)

2. 開通区間：島原中央道路の全線($L=4.5\text{ km}$)
しまばらし ちちぶ うらまち しまばらし しもおりはしまち
島原市秩父が浦町から島原市下折橋町

※無料で通行できる自動車専用道路です。

○今回の開通にあたっては開通式典を予定しています。

開通に伴う式典や一般車両が通行可能となる時間については、改めてお知らせします。



問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所



TEL : 0957-64-4171(代表)

技術副所長 山口 正二 (内線 204)
やまぐち まさじ

道路課長 桜井 敏郎 (内線 411)
さくらい としお

ホームページアドレス: <http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>

1. 島原中央道路の概要

○島原中央道路は、南島原市深江町から諫早市を結ぶ延長約50kmの地域高規格道路「島原道路」の一部を成し、島原市を南北に縦貫する延長約4.5kmの自動車専用道路です。

今回の開通により、国道251号島原深江道路及び主要地方道愛野島原線を含めた延長約11.3kmが自動車専用道路として結ばれます。

○事業名：国道251号島原中央道路

○延長：4.5km

○車線数：暫定2車線（標準幅員：10.5m）

○事業費：約251億円

○経緯：平成13年4月事業化（国による権限代行区間※）

：平成16年9月用地着手、平成19年3月工事着手

※島原中央道路が通過する眉山周辺は地質が脆弱であり、トンネル等の施工において高度な技術が必要とされることから、国の権限代行により事業を実施。

○インターチェンジ

名称	所在地	接続道路
しまばらみなみ 島原南IC	しまばらし ちちぶ うらまち 島原市秩父が浦町	国道251号
しまばらかいこう 島原外港IC	しまばらし しんみなどに ちょうめ 島原市新湊二丁目	市道 親和町・湊広場線
しまばら 島原IC	しまばらし しもおりはしまち 島原市下折橋町	主要地方道 愛野島原線

※ICの名称は、平成24年8月23日決定

○その他：島原中央道路は自動車専用道路であるため、125cc以下の

自動二輪車、自転車、歩行者等は通行できません。

：開通後は長崎県の管理する道路となります。

島原道路路線概要図



島原中央道路概要図



2. 地域高規格道路「島原道路」の主な整備効果

島原道路は、島原半島の交通の骨格として、長崎県央地域と雲仙・島原・南島原市との所要時間を短縮することにより、医療サービスの向上や観光・農産業振興などを図り、島原半島の復興・振興を支援します。

○所要時間の短縮

島原道路の整備により、諫早から島原市への所要時間が48分短縮(81分→33分:約6割減)するなど、長崎県央地域から島原半島の各地域への大幅な時間短縮が図られます。

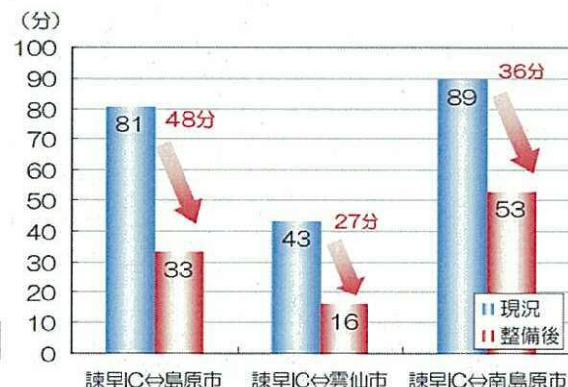
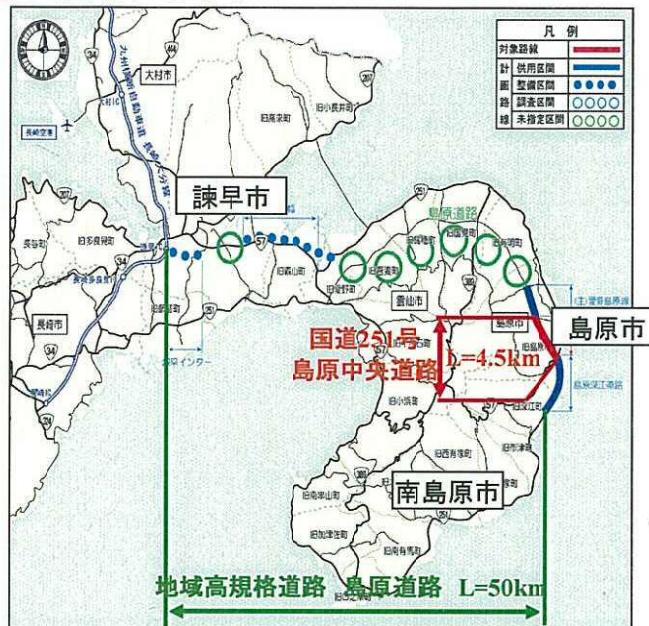


図 島原道路整備による時間短縮

資料：H17 道路交通センサス

効果1：医療サービスの向上

島原道路の整備により、半島内のほぼ全域が長崎医療センターの60分圏内となるなど医療サービスの向上を図ります。

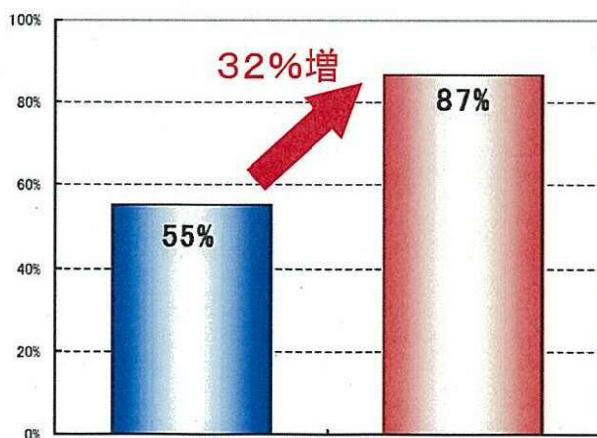


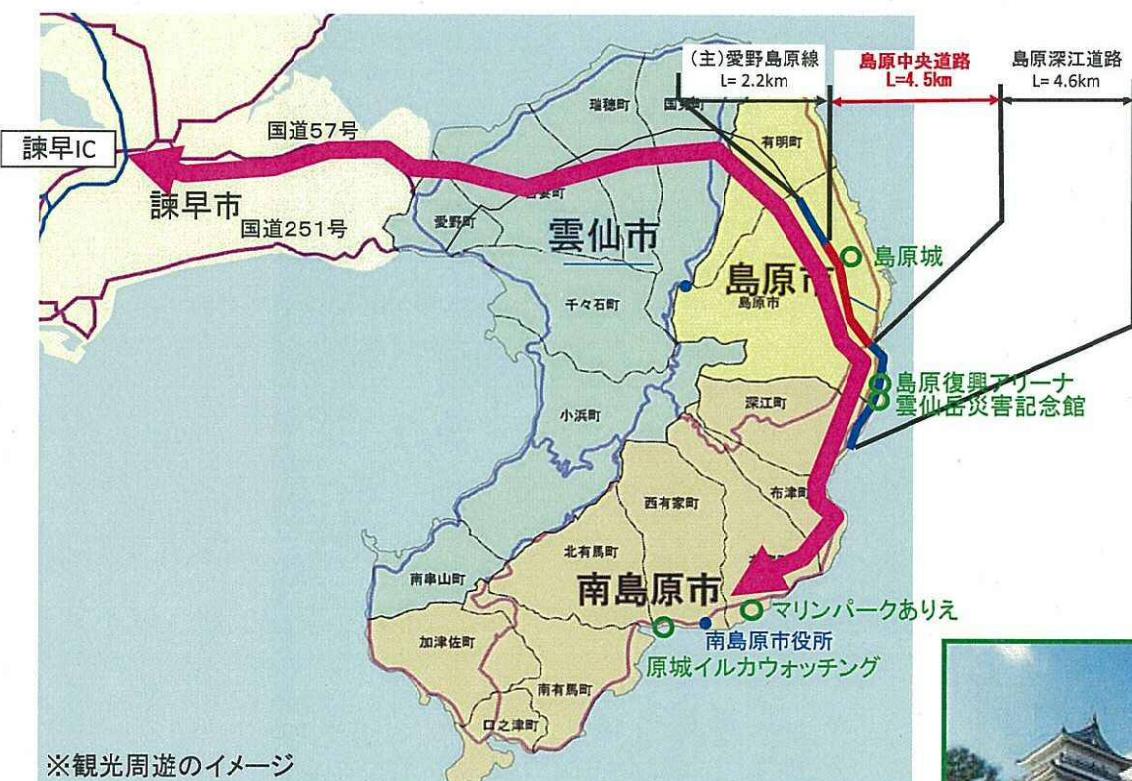
図 国立長崎医療センターからの60分圏人口カバー率の変化
資料：長崎県土木部道路建設課



図 国立長崎医療センターからの60分カバー圏域の変化
資料：長崎県土木部道路建設課

効果2:観光産業への支援

○島原半島は、「島原城」や「島原復興アリーナ」、「雲仙岳災害記念館」、「マリンパークありえ」、「原城イルカウォッチング」など豊富な観光資源を有していますが、島原道路がこれらの観光周遊ルートとして機能し、観光産業を支援します。



効果3: 農産業への支援

○島原半島における農業産出額は、長崎県全体の4割の高い生産シェアを誇っています。

○島原道路の整備により、JA営農センター(南島原市)から諫早ICまでの搬送時間が大幅に短縮(120分→60分:5割減)するとともに自動車専用道路の利用による荷痛みの軽減が図られ、生鮮品の市場価値が向上することによる農産業の振興を支援します。

◆JA営農センター(北有馬地区)～諫早ICの所要時間短縮



※島原中央道路供用前:国道251号を利用
島原中央道路供用後:島原中央道路、国道251号を利用
島原道路供用後:島原中央道路、島原道路を利用



島原半島で県内の約4割を占める

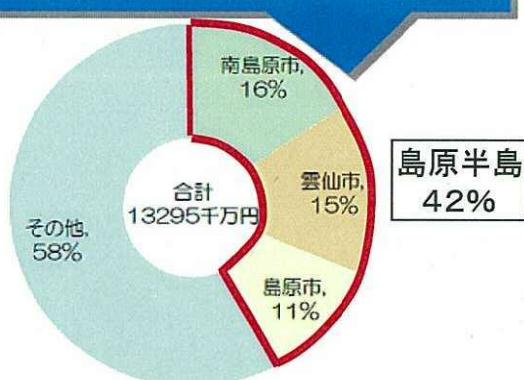


図 H18 農業産出額割合 (長崎県)
資料／生産農業所得統計

関東・近畿への出荷を支援

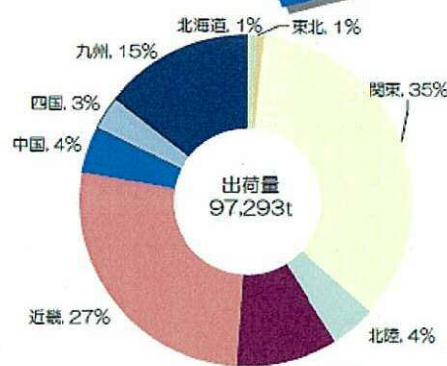


図 H20 長崎県じゃがいも出荷先
資料／青果物産地別卸売統計

J A の 声

■出荷量の増加に期待

- ・選別・洗浄・積込作業が間に合わず、その日のうちに出荷できないことがあります。
- ・その場合、冷凍保存するので経費がかかってしまいます。
- ・島原道路が整備されれば、JAでの作業時間が増えるので、その日に出荷できる量が増えることが期待されます。

(H18.10 JA島原雲仙より)

■出荷圏域の拡大

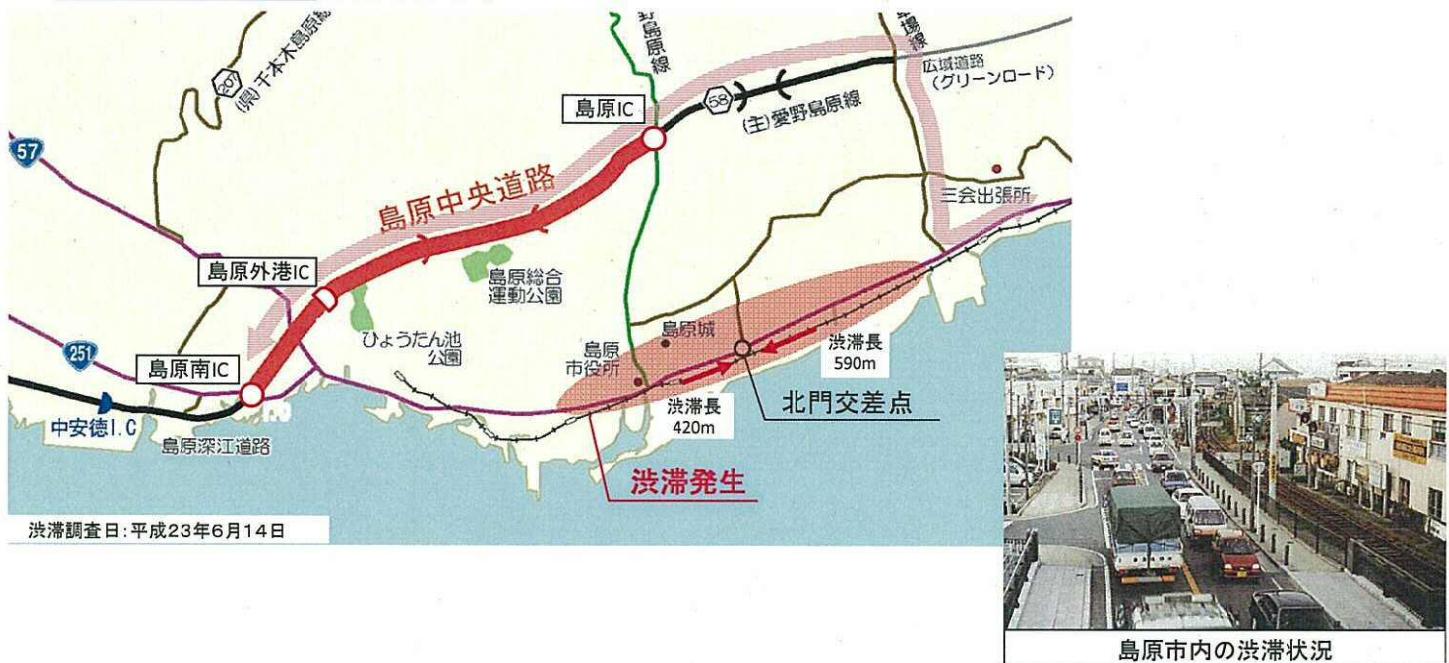
- ・出荷のほとんどをトラックで行っています。
- ・島原道路が整備されると、出荷時間の短縮や出荷圏域の拡大が期待されます。

(H22.8 JA島原雲仙より)

3. 島原中央道路(今回開通区間)の主な整備効果

効果1. 交通混雑の緩和

○島原中心市街地において、朝夕や行楽シーズンに国道251号に交通が集中し、北門交差点等で交通混雑が発生していましたが、島原中央道路に交通が転換することにより、**交通混雑の緩和**を図ります。



効果2. 災害時等の代替性

○これまで、島原中心部における唯一の幹線道路である国道251号に交通事故や災害が発生した際、島原中心市街地の交通が麻痺状態になる問題がありましたが、島原中央道路が**災害時等の代替路として機能**します。

